

# 2013年東アジアコース新設決定!

「東アジアで生きる」(全4回)

第1回 講演会 古家正亨氏による

# K-POPで考える 日韓文化交流

東方神起、少女時代、KARA……  
K-POPをいち早く日本に広めたラジオDJが語る韓国文化と日本文化



日時 | 2012年6月17日(日)  
13:00~15:00

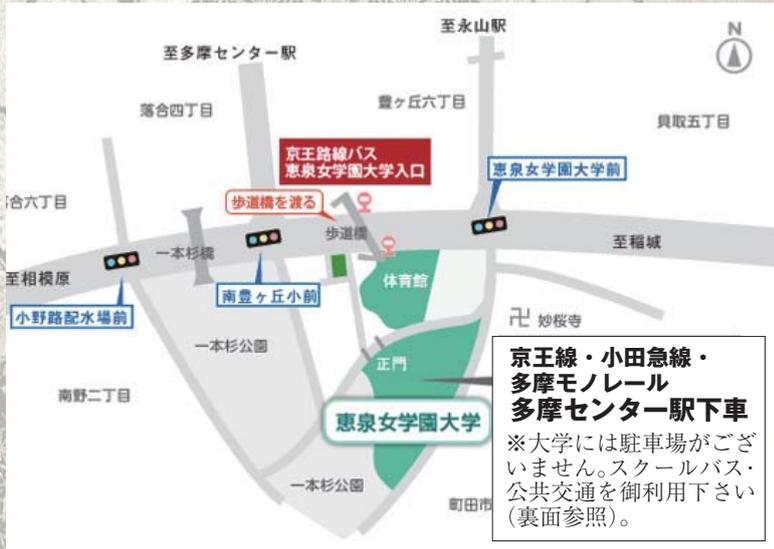
会場 | 恵泉女学園大学 J202教室

参加費 | 無料 (予約の必要はありません)

お問い合わせ | 恵泉女学園大学  
平和文化研究所  
TEL 042-376-8332

古家正亨さん  
ラジオDJ/テレビVJ/  
韓国大衆文化ジャーナリスト

上智大学大学院文学研究科新聞学専攻博士前期課程修了。幼い頃からラジオDJをめざし、95年、大学3年生でラジオDJデビュー。その後97年にカナダに留学。98年-99年まで韓国留学。帰国後2000年からK-POP専門のラジオ番組のDJとしても活躍。また2004年から韓国における日本の大衆音楽文化開放を受けスタートしたMTV KOREAのJ-POP番組「MTV J-BEAT」で日本人としては初めてとなるVJとしても活躍。2009年には、韓国政府から日本におけるK-POP普及に貢献したとして韓国政府より文化体育観光部長官褒章を受章。現在テレビ・ラジオ併せて6本のレギュラーを持ち、独自の視点で韓国文化の魅力を伝えている。



京王線・小田急線・多摩モノレール 多摩センター駅下車  
※大学には駐車場がありません。スクールバス・公共交通を御利用下さい(裏面参照)。

# 2013年 東アジアコース新設決定!

## 連続講座「東アジアで生きる」(全4回)

### 恵泉女学園大学 平和文化研究所

恵泉女学園大学平和文化研究所では、敏感な感性としっかりした視点をもってグローバルな変化を見つめることを目標に、毎年「グローバルな眼を研ぎ澄まそう」という公開の連続講座を開催しています。2012年は世界各地で大きな政治的変化が起こる年ですが、私たちの住む東アジアもその中心のひとつです。また世界の関心もこの地域へ確実に移行してきています。

このような情勢の中で、恵泉女学園大学では2013年度から国際社会学科に「東ア

ジアコース」を新設することになりました。「東アジアコース」では、アジア言語・東アジア関連科目履修・東アジア現地体験の修了者に「東アジアコース修了書」を発行し、グローバルキャリアを持って働く女性の育成を目指していきます。

これを踏まえ、恵泉女学園大学平和文化研究所の「グローバルな眼を研ぎ澄まそう2012」では、「東アジアで生きる」を共通テーマに、以下のような連続講演会を行います。



### 連続講座「東アジアで生きる」(全4回)

回	講座名	月日	時間	講師
第1回	K-POPで考える日韓文化交流	6月17日 (日)	13:00 ~ 15:00	古家正亨 (K-POP評論家、ラジオDJ)
第2回	ソウルから東アジアを考える	7月12日 (木)	12:15 ~ 13:30	李省展 (恵泉女学園大学教授)
第3回	東アジアの中の中国を語ろう: その歴史から現在まで	10月11日 (木)	12:15 ~ 13:30	楊志輝 (恵泉女学園大学准教授) 田中靖彦 (恵泉女学園大学助教)
第4回	国際シンポジウム 「東アジアの市民と自治体: 地域が社会を変える」	11月10日 (土)	13:00 ~ 16:00	自治体関係者 (交渉中)

入場料: 無料 場所: 恵泉女学園大学多摩キャンパス

主催: 恵泉女学園大学 平和文化研究所 問い合わせ: 042-376-8332

#### 恵泉女学園大学 交通アクセス

#### 恵泉女学園大学

〒206-8586 東京都多摩市南野 2-10-1

HP

<http://www.keisen.ac.jp/>

京王線・小田急線・多摩モノレール 多摩センター駅下車

(改札口からスクールバス乗り場まで約5分)  
乗車時間8分)

#### 路線バスのご案内

- 多摩センター駅 バス乗り場8番発  
(多01、多03、多04、桜46、永65)  
恵泉女学園大学入口下車 徒歩3~5分
- 路線バス  
(桜25、永14)  
京王多摩車庫前下車、徒歩10分
- 多摩市ミニバス東西線  
(永52、永53)  
豊ヶ丘5丁目バス停下車、徒歩9分
- 鶴川駅 バス乗り場5番発  
(多04)  
恵泉女学園大学入口下車 徒歩3~5分

#### スクールバス乗り場案内と時刻表

多摩センター発	12	15	25	35	45	55
12	05	15	25	35	45	55
13	00	10	20	40		
14	運行なし					
15	10	15	20	30	35	45
16	00					

(6月17日臨時便)

